

極域気候変動に関する和達国際会議のお知らせ

和達国際会議の主旨：

地球環境問題に対する日本の貢献を目的として、アラスカ大学地球物理学研究所（赤祖父俊一所長）に、日本における代表的地球物理学学者であります和達清夫先生の栄誉を称えて和達講座（Wadati Chair）という冠講座が1990年に設立されております。初代 Wadati Chair にはイリノイ大学教授の J. Walsh が迎え入れられました。この和達基金により、来る1995年11月7～10日に、つくば研究学園都市にて、地球環境問題と極域気候変動に関する和達国際会議を企画いたしました。

1990年代も半ばを過ぎれば、地球温暖化の実際の **Detection** が観測的に可能になってくるでしょう。最近の地球温暖化の影響を最も受けやすいとされる極域で、実際にどのような気候変化が起こっているか、また今後起こりうるかを報告しあうことは有意義でしかもタイムリーなことと考えられます。そこで、アラスカ大学と筑波大学を中心に、気象研究所・防災科学技術研究所・国立環境研究所・国立極地研究所・東大気候システム研究センターの6機関が共催して、和達国際会議を開催いたします。本国際会議では、気候変動に関する世界最先端の研究者約25名を事務局のサポー

トで海外から招聘する予定です。ほぼ同数の研究者を日本国内から招待する一方、国内外からの一般参加も募集いたします。特に、若手研究者や大学院生の参加を歓迎します。

本会議は和達先生が御健在の1993年に企画され、和達先生に開会式の式辞をお願いするなどの準備を重ねてまいりましたが、本年1月の突然の御逝去は残念でなりません。本会議は和達先生のメモリアルとして開催されることになりました。

記

会議名：極域気候変動に関する和達国際会議

Wadati Conference on Global Change and Polar Climate

主催団体：アラスカ大学・和達国際会議 LOC 委員会
(代表：安成哲三)

開催日：1995年11月7日～10日

開催場所：科学技術庁研究交流センター（つくば市）

事務局：〒305 つくば市天王台1-1-1

筑波大学地球科学系 田中 博

Tel 0298-53-4502

Fax 0298-51-9764

日本気象学会1995年度秋季大会の日程が変わりました

日 程 1995年10月16日（月）～18日（水）

会 場 ホテル・アウィーナ大阪

大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12